

## 令和2年度第1回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 令和2年度第1回木更津市史編集委員会
2. 開催日時 令和2年7月10日（金）～同年7月27日（月）
3. 開催方法 書面協議
4. 出席者 市史編集委員会委員 10名  
杉山林継委員長、成田篤彦副委員、石和田秀幸委員、池田忍委員、川戸貴史委員  
實形裕介委員、島立理子委員、谷畑美帆委員、堀切由彦委員、篠田貞明委員
5. 教育委員会事務局 7名  
高澤茂夫教育長、岩埜伸二教育部長、中村伸一教育部次長、小高幸男文化課長  
高橋一隆副主幹、大野雅貴主事
6. 新委員の任命について  
新委員 篠田貞明委員  
任 期 令和2年4月1日～令和3年6月30日
7. 議題及び報告事項  
議題1 『木更津市史』の刊行計画の見直しについて  
議題2 『木更津市史』本編の刊行の方法及び発行部数について  
(1) 『木更津市史』の刊行の方法について  
(2) 『木更津市史』の発行部数について  
報告1 木更津市史編集部会の活動状況について  
報告2 木更津市史編さん事業公開講座について  
報告3 令和元年度刊行物の発行実績及び令和2年度発行予定について

### 議題結果報告

#### 議題1 『木更津市史』刊行計画の見直しについて

令和2年度に編集刊行予定の『民俗調査報告書（木更津地区）』1は、新型コロナウイルス感染症の影響により、民俗部会による聞き取り調査が実施できないため、「木更津市史編集基本構想及び基本方針」別表4の改正を諮り令和3年度以降の刊行としたい。

#### ◎協議結果 全員了承

「木更津市史編集基本構想及び基本方針」別表4を改正します。また改正結果を民俗部会へ示し、市史編さん事業を進めます。

#### ◎その他意見・質問内容

**實形委員：**民俗部会以外の部会も新型コロナウイルス感染症の影響で調査等が遅れています。他の部会の状況を確認してください。例えば、近世部会は千葉大学での調査ができません。

**事務局：**各部会に進捗状況及び懸念事項を確認し、次回の編集委員会で報告して、必要に応じて協議を求めます。

#### 議題2 『木更津市史』本編の刊行の方法及び発行部数について

##### (1) 『木更津市史』の刊行の方法について

『木更津市史』は、本編26巻、目録・索引4巻、合計30巻の刊行を予定しておりますが、昨年発生した台風15号・19号などによる災害復興対策費や、新型コロナウイルス感染症対策費等により、市史編さん事業計画や費用の見直しが見込まれます。については、「木更津市史編集基本構想及び基本方針」

4. (2) イに基づき『民俗調査報告書』1の刊行(発行)方法を、冊子(紙媒体)からCDまたはDVD(デジタル媒体)に見直し、印刷製本費用を削減することについて協議を諮りたい。

◎協議結果 了承 9名

再検討を要望 1名

「木更津市史編集基本構想及び基本方針」4.(2)イに基づき『民俗調査報告書』1の刊行(発行)方法を、冊子(紙媒体)からCDまたはDVD(デジタル媒体)に見直し、印刷製本費用の削減に努めます。あわせて、『木更津市史研究』等についても見直します。また、各編集部会へも刊行(発行)方法の見直しを示し、市史編さん事業を進めます。

◎その他意見・質問内容

**實形委員**：自治体史刊行の成果は、紙媒体で必ず残さねばなりません。付録としてCDまたはDVDを付ける場合があります。

**事務局**：資料保存という観点から、紙媒体として残すことの重要性は理解しております。ただ、一部の自治体では、自治体ホームページでデジタル版自治体史を公開しております。また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響で本市の財政は非常に厳しいものとなっております。まずは、市史編さん成果の公表を第一と考え、刊行(発行)方法を見直し、経費削減に努めます。

## (2)『木更津市史』の発行部数について

「木更津市史編集基本構想及び基本方針」4.(3)に基づき発行部数について協議を諮りたい。

◎協議結果 800部 6名

他の自治体を調査し、再検討を要望 3名

回答無し 1名

発行部数は800部としますが、他の自治体における発行状況を調査検証し、結果を市史編集委員会へ報告して、必要に応じて協議を求めます。

◎その他意見・質問内容

**實形委員**：自治体史の刊行で、いつも問題となるのが不良在庫です。そのため適切な発行部数の検討が必要です。

**事務局**：協議結果で示すように、他の自治体における発行状況を調査検証し、結果を市史編集委員会へ報告し、必要に応じて協議を求めます。

## 報告事項

報告1 木更津市史編集部会の活動状況について

平成31年4月から令和元年12月の活動状況は、別紙木更津市史編集部会調査等進捗報告のとおりです。なお、令和2年3月中旬から5月までの期間、市史編さんに係る屋外や博物館・図書館等施設での調査・研究について自粛要請しました。6月以降からは、資料調査を再開していますが、聞き取り調査などの対面調査は引き続き制限しています。また、旧木更津市保健相談センターでの市史編さん作業についても、消毒の徹底や、部会委員同士の作業間隔を十分に保って感染症予防対策を図っています。

報告2 木更津市史編さん事業公開講座について

令和2年3月20日(祝日)開催予定であった平成31年度木更津市史編さん事業公開講座「鎌倉～戦国時代の木更津」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。なお、令和2年度の公開講座については、開催時期や方法を事務局内で検討しています。方針が決まり次第、お知らせします。

報告3 令和元年度刊行物の発行実績及び令和2年度発行予定について

令和元年度は、『木更津市史編さんだより』第4号（令和元年11月11日）、『木更津市史研究』第3号（令和2年3月27日）、『木更津市史編さん事業公開講座記録集』平成30年度版（令和2年3月31日）を発行しました。また、『木更津市史編さんだより』第4号は、市ホームページでも公開しています。

令和2年度は、『木更津市史編さんだより』第5号（令和2年11月1日予定）、『木更津市史研究』第4号（令和3年3月末予定）を予定しています。なお、『木更津市史編さん事業公開講座記録集』平成31年度版については、新型コロナウイルス感染症の影響で公開講座を中止したため発行しません。

以上、議題の協議結果及び報告事項を書面にて報告します。なお、第2回木更津市史編集委員会は11月以降の開催を予定します。日程及び開催方法が決まり次第、お知らせいたします。この度は、ありがとうございました。（事務局）

上記、第1回木更津市史編集委員会の書面による協議について、確認したことを報告します。

令和2年8月21日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 杉山 林継